



# PC Matic ユーザガイド

PC Pitstop LLC.

# 目次

PC Matic とは?	4
PC Matic システム要件	4
最小限のシステム要件	4
PC Matic の起動	5
PC Matic の購入	6
PC Matic のご利用について	7
PC Matic 起動画面	8
ログインもしくは、新規アカウントの作成	9
Purchase a PC Matic Subscription	9
PC Matic 無料パソコン健康診断の起動	10
PC Matic 診断結果 - ダッシュボード	12
ダッシュボードからさらに詳細なレポートを得る	13
ダッシュボードにおけるアイコンの説明	14
PC Matic ダッシュボード詳細	15
PC Matic の無料 PC 健康診断を実行後	22
PC Matic ライセンス購入後	23
PC Matic でパソコンを管理する。	24
PC Matic 管理画面 のオプション	27
設定の修復	27
テクニカルサポートのログ生成	27
スケジューラー	25
スケジュールスキャンの設定項目	27
マルウェア ホワイトリスト	28
ユーザー入力	28
言語	28



## PC Matic とは?

PC Matic は、米国に本社を置く、当社 PC Pitstop LLC が創業以来築き上げてきた、複数のパソコンチューンナップ製品を 1 つに統合したソフトウェアです。当社 PC Pitstop 社のテクノロジーの全てを投入して誕生したこのソフトウェアは、全米で人気を得ている製品です。我々が 2000 年 3 月にパソコンチューンナップ市場に対して製品を投入して以来、数々の解析情報を蓄積し、それが現時点では 2 億件以上に上り、そのスキャン情報をもとに分析を行います。

PC Matic は、パソコンというものに初めて触れた初心者の方から上級者の方まで、幅広い利用者の方を対象としています。これらすべての方へ容易なパソコンメンテナンス環境を提供し、複数台保有するパソコンの全体を包括的に改善する製品となっています。市場に出ている他の製品とは異なり、これらのテクノロジーの全ては、1 つのボタンのクリックすることにより実行される容易な設計思想となっています。容易でありながらも、複数のパソコンチューンナップ製品を 1 つに統合したことにより、実施される内容は多岐に渡り十分な性能を発揮します。

PC Matic のアーキテクチャは、他に類をみない最新の機能を装備しています。たとえば、PC Matic は、スキャンした結果の全ては、我々のサーバーに保存され、次回の解析を効率的に実行することを助けます。1 つのアカウントで複数のパソコンを管理ことができ、他のパソコン(いま実行中でないパソコン)からでもその実行履歴を見ることができます。またさらに、結果は簡単に 1 つのパソコンからあなたの管理するすべてのパソコンを管理ことができ、実施結果を、電子メールを通して送信することができます。

PC Matic は最新のクラウド技術で作られています。新機能は自動的に必要に応じて PC Matic に加えられ、利用者が新しいバージョンに更新する必要はありません。PC Matic の機能は自動的にどんどん向上していきます。

## PC Matic システム要件

### 最小限のシステム要件

1GHz 以上のプロセッサ

512 MB 以上の RAM

200 MB 以上のハードディスク空き容量

1024\*600 以上の画面解像度

インターネット接続環境 (SaaS アプリケーションであるため動作中に必須)

## PC Matic の起動

PC Matic のインストールが終了すると自動的にPC Maticが起動します。

初期起動以外のアプリケーションの起動では、PC Matic を次の方法で起動することができます。

「スタート」メニューの

「PC Pitstop」グループの中にある「PC Matic」フォルダからアプリケーションを起動することができます。  
(figure 1).

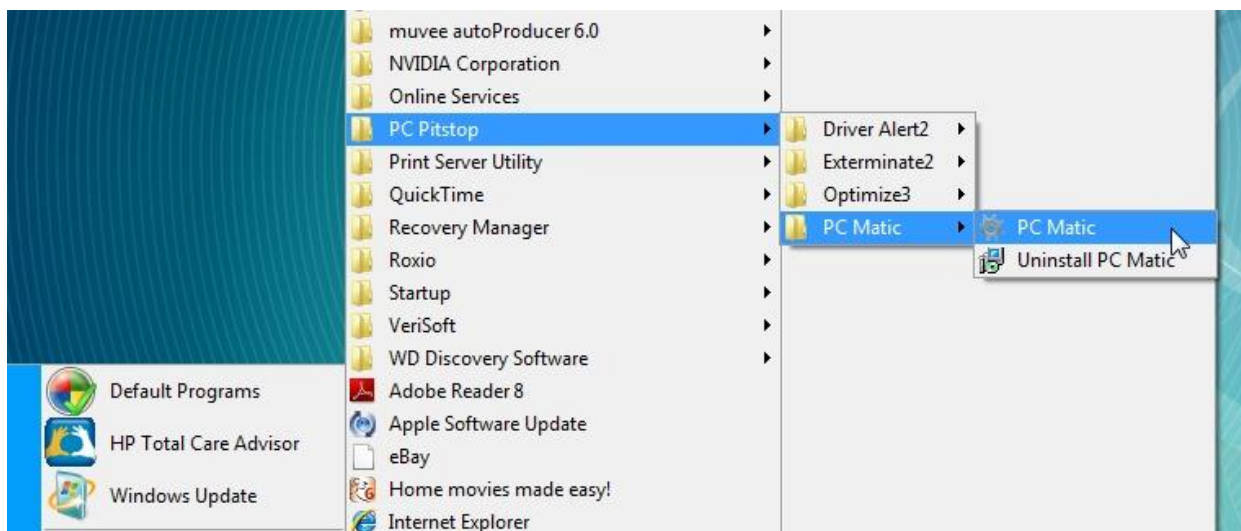


Figure 1

### デスクトップ

インストール時の選択にもよりますが、PC Matic のアイコンをデスクトップ上に表示させることができます。ここをダブルクリックするだけで、アプリケーションを起動させることができます。(figure 2) Windows Vista/7の環境では起動時にセキュリティ警告が表示されることがありますが、安心して起動を行ってください。

更に起動途中で「プログラムモジュールを実行するか」という警告が表示されることがあります。これは、インターネットを通じて PC Matic がプログラムモジュールを取得し実行しようとしていることによります。こちらも安心して実行を行ってください。



Figure 2

## PC Matic の購入

PC Maticのホームページを訪問ください。<http://pcmatic.jp/gh/>  
(このURLをクリックし、ハイパーリンクで飛ぶことができます。)

ページの最下部にある「ライセンスの購入」ボタンを押し、飛んだページの最下部にある日本の国旗をクリックして日本語表示に変更ください。こちらがライセンス購入ページになります。

もしくは、すでに PC Matic を入手し、プログラムを走らせているのであれば、起動後の画面下部中央にある「ストア」アイコンをクリックすることにより、ライセンス購入を容易に行うことができます。

ご購入は、画面に従い、購入するライセンスを選択した上で、クレジットカード、Paypalまたは、コンビニ支払い、Payeasy (ATM) によってお支払いください。クレジットカードでお支払いを頂きますと、PC Maticが即座に利用可能となりますので、ご利用をお勧め致します。

PC Maticのパッケージをご購入されたお客様は、アプリケーションを起動し「ストア」ボタンを押して、表示される画面の右上にある「ライセンスを有効化する」をクリックしてシリアル番号など必要な情報を入力してください。

PC Matic をご購入いただきますと、診断結果を基にしたパソコンのチューニングを実行することが可能となります。最小ライセンス単位のご購入でも5台のパソコンをチューニングし、最良の状態にすることができるようになっています。

またPC Matic をご購入いただきますと、スキャンし改善した記録が履歴として当社センターサーバにて管理保管され、どのパソコンからでも、その履歴を閲覧できるようになります。



## ライセンス数のアップグレードについて

既存のライセンスから上のライセンスへアップグレードするには、PC Matic のライセンス アップグレードは、利用可能 PC 台数の上限を利用済の状況でのみ行うことができます。またアップグレード作業は、追加したい新たな PC 上で行う必要があります。Home 1 ライセンスをご利用の方は、6 台目の PC 上にて。Home 2 ライセンスをご利用の方は、11 台目の PC 上にて行う必要があります。

新たに管理したい PC 上に PC Matic をインストールし、PC Matic を起動後に左下に表示される「ログイン」アイコンにてログインし、ログイン状態になっていることを確認した上で、「ストア」アイコンを押し、アップグレード専用の画面にて行うことで、アップグレードが行えます。

元のライセンスの有効期限が少ない場合に、アップグレードを行うと下の図のようにボーナスとして利用期限が延長されます。

※アップグレード前のライセンス購入日が近い場合にはボーナスは付与されません。

※ライセンス期限が 365 日より長い場合にアップグレードを行うと、利用期限は 365 日後にセットされます。

## PC Matic のご利用について

PC Matic を他のパソコンにインストールをし、初回に作成した PC pitstop のログイン ID とパスワードによってログインすることにより、ライセンスの範囲内で追加のパソコンでも即座に利用可能となります。

一度ログインをすれば、ログアウトするまで同一パソコンでは次回以降のログイン処理を必要としません。

**ご注意:PC Matic は、最小ライセンス単位でも 5 台までのパソコンでご利用になれます。**

(デュアルブートおよび、XP モードやVMWareなどの Virtual PC での利用は同一のパソコンであっても別途1台分が必要となります。)

## PC Matic 起動画面

PC Matic を起動しログインをしていない状態では以下の画面が表示されます。(figure 3)



Figure 3

この画面において、以下の動作が可能です。

- ログインもしくは、新規 PC Pitstop アカウントの作成
- PC Matic ライセンスの購入
- PC Matic による無料パソコン健康診断

## ログインもしくは、新規アカウントの作成

既に PC Matic を利用可能なアカウントをお持ちの方は、この画面でログインを行うことができ、アカウントをお持ちでない方は、ここから新規作成を行うことができます。



無料パソコン健康診断を試すのにアカウントは必要ありません。

ただし無料パソコン健康診断でもアカウントを作成することにより、同一アカウントにて試された結果を同一アカウント上で4台のパソコンまでを他のパソコンからも見るできるようになります。アカウントを作成することによって、他のパソコンとの比較が容易となりますので、無料パソコン健康診断の後に、アカウントを作成されることをお勧めいたします。



Figure 4

## PC Matic 無料パソコン健康診断の起動

PC Matic の無料パソコン健康診断を行うには、このアイコンをクリックください。



クリックを行うと PC Matic は、パソコンの分析を開始いたします。

### 速度

**Craplets** - 不必要なクイック起動プログラムが OS の起動の度に自動的に起動をし、常駐することがあります。これは、OS の起動を遅くする他にメモリ空間を占有し、アプリケーション全体の動作を遅くする要因のひとつになります。

**不必要なファイルの削除** - 年月の経過と共に、膨大な数の不必要なファイルがパソコン内に蓄積されてきます。インターネット一時ファイル、電子メールでアタッチされてきた一時的なファイルなど。これらのファイルはディスクアクセス速度を悪化させる要因となります。デフラグ処理も重要な速度改善の上で要素です。

### 安定性

**レジストリの分析** - Windows およびアプリケーションは、膨大な数のパラメータをレジストリと呼ばれる機能に登録をして管理します。レジストリが正常でなかったり、削除して不必要となったアプリケーションの情報などを残しておく、レジストリへの応答速度が低下したり安定性に問題を引き起こすことがあります。

**ドライバ** - パソコンの周辺機器やデバイスを管理するドライバは、製造元により安定性向上、速度改善、障害対策などにより頻繁に更新がなされます。ドライバは1台のパソコンで数十も利用されており、その1つ1つの最新版を定期的を確認することは、とても骨の折れる行為です。例えば、無線 LAN ドライバは、その規格制定や接続性向上のために特に頻繁に更新がなされます。

## セキュリティ

**定義ファイルの更新** - 日々、新たなウイルスやマルウェアが開発され、世の中に広まっています。これらへ正確に対処するためには、既知のウイルスとして定義ファイルの更新が欠かせませんが、毎日頻繁にダウンロードするのはとても骨の折れることです。PC Matic では、初回に定義ファイルの全体をダウンロードし、時間を要しますが、その後は差分のみを取得するために迅速に動作するようになります。

**低いレベルの脅威** - ウイルスではありませんが、プライバシーなど低い脅威のあるものです。例えば、どの広告をクリックしたかを記録しておくトラッキングクッキーなどがそれに相当します。

**高いレベルの脅威** - ウイルスなどのマルウェアはもちろんのこと、それ以外にも様々な脅威が日々開発されてきており、新たな脅威に対して利用者は常に対処していかなければなりません。これらをすべて PC Matic にお任せください。(PC Matic は、リアルタイム検知機能は有していません)

## パフォーマンス

**ベンチマーク** - PC Matic は、CPU 性能、ビデオ描画性能、HDD 応答速度、メモリ応答速度などを測定します。これらの指標を総合して、世界中のパソコンと統計学的に比較し、「世界ランキング」を作成いたします。

**ビデオ、3D 描画性能テスト** - PC Matic は、テキスト描画性能、線、画像、3Dなどの6種類の描画テストによって画面描画性能の測定を行います。

## 利用者評価

最後に利用者によるアンケート形式にてパソコンへの満足度などを調査します。

## PC Matic 診断結果 - ダッシュボード

PC Matic の無料パソコン健康診断が終了すると、診断結果を視覚的にわかりやすくしたダッシュボード画面として表示します。(figure 5)

パソコンの性能、安定性、セキュリティについて容易にかつ詳細に把握することができます。

※この画面は管理画面 (figure 9) の「履歴」から過去の診断画面として呼び出すこともできます。



Figure 5

## ダッシュボードからさらに詳細なレポートを得る

診断結果におけるダッシュボードにて黄色および赤色の■が表示されている箇所にご注意ください。赤色で表示されている箇所については、PC Matic が強く改善を推奨する箇所になります。黄色の箇所は、PC Maticよりアドバイスや TIPS が得られる箇所になります。この■にマウスを持ってくることにより、その項目でのアドバイスや改善のための推奨の詳細が表示されます

総合的な詳細レポートを取得するには、ダッシュボード上の右側下部にある「修正/アドバイスサマリー」をクリックし、詳細レポート画面を開いてください。

赤色や黄色で表示されている箇所にマウスを持ってくることにより、以下のような詳細なレポートを各項目にて閲覧することができます。

また更に小さな矢印が表示された場合には、更に深い詳細を閲覧することができます。(figure 6)



8 個の修正が利用可能 / 4

テスト範囲	テスト名	スキャン結果	推奨
セキュリティ	トラッキング クッキー	トラッキング クッキーが見つかりました	削除
ジャンクファイル	一時ファイル	747.12MB	50MB
ジャンクファイル	インターネット キャッシュ	237.19MB	50MB
スタートアッププログラム	Sun Java Update	有効	無効
スタートアッププログラム	Adobe Acrobat SpeedLauncher	有効	無効
ディスク	データ断片化	11.42%	10%
その他	ドライバー	Realtek High Definition Audio 5.10.0.5973 11/3/2009	Realtek High Definition Audio 5.10.0.6013 12/25/2009
その他	ドライバー	Realtek PCIe GBE Family Controller 5.736.0728.2009 7/28/2009	Realtek PCIe GBE Family Controller 5.745.0121.2010 1/21/2010
インターネット	Firefoxパスワード セキュリション	有効	無効

このリストに表示されている赤い丸で記されている箇所は、「チューンナップする」ボタンを押すことで、PC Maticが自動的に修正し改善を行うことができます。黄色い丸で記されている箇所は、より良いパフォーマンスへのアドバイスや自動的に修正されないがチューン可能な箇所を表します。

チューンナップする

Figure 6

最後に、必要と感じた場合には、「チューンナップする」ボタンを押すことにより、すべての対応が必要な箇所へ一気に自動的に対応を行うことができます。







## ダッシュボードにおけるアイコンの説明










ダッシュボードのアイコン説明へは、青色のクエスチョンマークをクリックすることにより、表示させることができます。



### ダッシュボードアイコンの説明（クリック可）

-  • すべてのテストをパスしました。
-  • 最低1箇所は対応の必要があります。
-  • この項目に関する情報があります。
-  • この項目に関するアドバイスや TIPS があります。

### 詳細アイコンの説明

-  • この項目はパスしました。
-  • この項目はパスし、その情報があります。クリックすると閲覧できます。
-  • この項目はパスし、情報を表示しています。クリックすると閉じられます。
-  • この項目は対応の必要があります。
-  • この項目は対応の必要があり、その情報があります。クリックすると閲覧できます。
-  • この項目は対応の必要があり、その情報を表示しています。クリックすると閉じられます。
-  • この項目には、アドバイスがあります。
-  • この項目にはアドバイスがあり、情報を表示することができます。
-  • この項目にはアドバイスがあり、その情報を表示しています。

## PC Matic ダッシュボード詳細

ダッシュボードは、各カテゴリにおいて、あなたのPCの性能に関して、詳細な情報を表示します。

### パフォーマンス

**ジャンクファイルテスト** unnecessaryファイルは、複数の要因によって作られてきます。いつか綺麗にしようと思っている Windows の「ごみ箱」もそのひとつです。しかし、ごみ箱のファイルは、多くのハードディスク領域を必要としています。このハードディスク領域を取り戻すために、利用者はごみ箱を空にする必要があります。また、Windows とアプリケーションは一時ファイルを様々な状況下で作成します。そして面倒なことに、Windows やアプリケーションはその一時的なファイルを必要としなくなったのに削除しないことが多くあります。例えば、Internet Explorer と Firefox はネットアクセスを高速化するためにファイルを一時保管し、それをキャッシュと呼びます。しかし、特大のキャッシュサイズとなった場合には、ブロードバンド接続の際には逆にネットアクセスにおけるパソコンのパフォーマンスを低下させることとなります。

**インターネット接続テスト** インターネット接続における最適化は、インターネット利用における体感速度を劇的に改善します。時には 200%もの改善を記録することさえあります。しかし、そのパフォーマンス改善には、様々な複合的な要因の組み合わせがあり、それに応じた経験則も必要でとし、その上で計測作業も伴います。人手によってチューニングするには複雑な場合があります。

**スタートアップ・アプリケーション・テスト** unnecessaryスタートアップ・アプリケーションはパソコン本体内の貴重な実メモリ空間を占領し、アプリケーションが利用可能となる実メモリ領域を圧迫します。利用可能な実メモリ空間が少ないと頻繁にスワップ(HDDなどを一時的なメモリ空間として利用することにより大きなメモリが搭載されているようにみせかける技術。HDDへのアクセスはメモリと比較して極端に遅いため、この結果動作が極端に遅くなる)が発生してしまいます。あまり利用しないアプリケーションや unnecessary「Quick launch」を OS 起動のたびに常駐させないようことが肝要です。

**レジストリテスト** アプリケーションは、ときとしてレジストリに一時的に書き込んだ情報を放置したままにしてしまうことがあります。またアンインストールをしたのにも関わらず、レジストリ情報を放置したままにするアプリケーションが多く存在しているのも事実です。レジストリは、アプリケーションを実行する前に「自分の環境設定がどうなっているか常に確認をする場所」となっていますので、レジストリに unnecessary情報が膨大に書かれていると、それだけ検索に時間がかかり、結果としてアプリケーションの起動が遅くなってしまいます。PC Pitstop は、レジストリに関連する問題はパソコンあたり 100 箇所以下に留めるべきであると考えています。

**メモリ最適化テスト** あなたの PC のパフォーマンスは、パソコンに搭載した実メモリの容量に大きく依存しています。パソコンの動作が購入当初から快適でなかった場合には、実メモリが不足していた可能性がありますので、パソコンが搭載可能な範囲で、最適なメモリ容量へアップグレードする必要があります。このテストはあなたのシステムには十分な記憶があることを確認するためにチェックをし、メモリが必要十分に搭載されている場合には、パソコンを快適に利用することができる状態に戻せるはずです。

## セキュリティ

**高いレベルの脅威** 通常の利用環境においては、ウイルスやスパイウェアに影響される可能性はあまり高くないのですが、もし、1つでも PC Matic で検知されたのであれば、パソコンの利用にあたり、とても深刻な事態であるため、至急対処を行う必要があります。このレベルの脅威にさらされている場合は、パソコンのパフォーマンスおよびセキュリティの両面に多大なる影響を及ぼしていますので、至急対処を行ってください。対応は PC Matic でなくと駆除をすることは可能な場合もありますので、影響していると検知されたウイルス名称でインターネット検索をし、即座に対処をされることを強くお勧めいたします。

**低いレベルの脅威** ウイルスやスパイウェアに加えて PC Matic は、パソコンを利用する上で小さなリスクを内包するソフトウェアを検知する機能をも備えています。利用者の行動履歴を記録するトラッキング・クッキーなどプライバシーに関する情報を削除することをお勧めしています。

**実施中プロセスの報告** リストは、現在実行中のプロセスとなります。どのプロセスがどれだけのメモリと CPU を消費しているかなどを把握することができます。もしあまり利用頻度の高くない機能やアプリケーションがリソースを消費していることが確認できましたら、それらを削除されることを強くお勧めします。

## ディスク

**空き容量結果** ハードディスクのパフォーマンスを最も左右しているのは、その空き容量です。PC Pitstop は、最低でも 50% の空き容量が C ドライブにあることをお勧めしています。空き容量が現象してくると、システムパフォーマンスは劇的に低下してきます。ハードディスクの空き容量が危機的に少ない状態でホームページの閲覧や電子メールを送信しようとする、驚くほど遅くなっていることに驚かれることでしょう。PC Pitstop は、データのフラグメンテーションレベルが 10% を超えないことをお勧めしています。

**ファイルのデフラグ処理** フラグメントレベルについてのレポートを注意深くお読みください。もし、フラグメント数が 100 を超えていたならばパソコンのパフォーマンスは低下しています。また、もし良く見覚えのあるファイル名が現れていた場合には、最もフラグメントの影響を受けてパフォーマンスが低下している可能性があります。最後にファイルサイズを注意深く見てください。小さなファイルでフラグメントレベルが高くなっているものがあれば、それはディスクのパフォーマンスを低下させているサインです。ファイル名を指定してどこに格納されているかを注意してみてください。

**デフラグ処理** Windows がファイルをハードディスクに記録する際に、時々1つのファイルを複数の分断されたファイルとして記録することがあります。このようなことが毎日、毎月、毎年どんどん蓄積され、ハードディスクの中は迷宮のようになっていきます。迷宮状態となっているため、1つの必要なファイルを探し出すために、ハードディスクをものすごい勢いで頑張ってアクセスし、時間をかけてやっと必要なファイルを作り上げることになります。そのアクセス速度の差は 60 倍にもなります。そうです、これがパソコンを遅くしている最大なる要因なのです。

## その他

**ドライバ調査** ドライバは、Windows がハードウェア (パソコンや周辺機器) と対話するためのソフトウェアで重要な役割を果たしています。一般的なアプリケーションと同様に、ドライバも頻繁に更新され一般に公開されています。新たな機能の追加、障害に対応した修正版、安定性の向上、他周辺機器との親和性向上などその内容は多岐に渡ります。私たちの調査結果からドライバにより頻繁に更新されるものと、まったく更新されないものに大きく大別されます。最近では、無線 LAN においては新たな規格制定、セキュリティ対策や国際的な法整備などにより更新が頻繁になされています。またディスプレイドライバもゲーマーに向けて頻繁に更新されており、多種多様なモニタへの対応やパフォーマンスの向上、安定性向上が行われています。「安定していればドライバは更新しなくてよい」というのは過去の話で、安定性確保およびセキュリティ対策のため、そしてパフォーマンス向上のためにドライバの更新は必須となってきたのです。

**インストールされているソフト** あなたがパソコン上で PC Matic を定期的起動するたびに新たに追加されたアプリケーションがなにかを把握し管理しています。時系列的に管理をすることにより、最近インストールしたソフトウェアによって影響を受けたかなどを診断することに役立っています。

**システム仕様レポート** 最大限の可能性を引き出すために PC Matic は、分析したパソコンの詳細なシステム構成を管理しています。PC Matic は、Windows の標準的な API を利用してシステムの仕様をパソコンから分析し PC Matic の管理サーバにて記録・保管しています。

**大きなファイルのレポート** PC Pitstop は、可能な限り不必要な巨大ファイルを削除することを推奨しています。巨大なファイルで \$ 印がファイル名の前後に付属している拡張子が SYS のシステムファイルは移動させることができませんが、巨大なビデオファイル、高解像度の写真などは、Windows やアプリケーションが利用する C ドライブでなく、外付け HDD などの別の外部記憶装置に移動しておくと、パソコンのパフォーマンスを最大限に発揮させることができます。そしてそれは、ハードディスク空間を空けるために役立ちます。ファイル名にマウスを当てて、ファイルの保存箇所と利用している関連アプリケーションをもとに対処を行ってください。

## レポート

**ハードディスク構成レポート** このレポートは、ハードディスクの現状構成を把握することに役立つよう、提供しています。多くのパソコンは、膨大なビデオ映像や写真、そして音楽を保存しています。これらを Windows やアプリケーションと同一のハードディスクに保管し、ディスク領域を圧迫するとパソコン全体の動きを極端に遅くする要因となります。

**アドバイス** Windows にて利用するパソコンの標準設定は BIOS によりフラッシュメモリに記録され、それを Windows が読み込んで利用していますが、その設定を変更することによりパフォーマンスと安定性を向上させることができる場合があります。分析により改善方法が発見された場合には、アドバイスされます。

**修正とアドバイスの概要** このリストは容易かつ素早く問題を素早く解決することに役立ちます。赤い丸印で示された項目に関しては、PC Matic の「すべて修正する」アイコンを押すことにより自動的に改善されます。黄色い丸印で示された項目は、最適化のためのアドバイスもしくは自動的に修正ができないが対応可能なものを示しています。

**世界ランキング** PC Matic は、多岐に渡るベンチマークテストを実施し、パソコンの性能を総合的に計測します。ベンチマークによる結果は、世界中の PC Matic が実行されたパソコンと比較され、世界ランキングを決定します。PC Matic による最適化前と最適化後での結果がどのように変化しているかを把握することにも役立ちます。

**利用者評価** PC Pitstop は、ご利用のパソコンに対する顧客満足度を評価することに役立てています。その結果は、<http://www.pcpitstop.com/> にてご覧頂けます。

## PC Matic の無料 PC 健康診断を実行後

PC Matic によって無料パソコン健康診断が完了した後は、PC Matic によって提供される膨大な情報量のアドバイスを閲覧することができます。パソコン上級者の方でしたら、これらアドバイスを基に手作業でデフラグ作業、ドライバーの更新作業など多岐にわたる作業を行い、パソコンのパフォーマンス(処理速度)を向上させることができることでしょう。もしくは、右下の「チューンナップする」ボタンを押してライセンス購入を行えば、すべて PC Matic 任せで対応を行うことができます。

The screenshot displays the PC Matic software interface. At the top, it identifies the user as 'MICKACER-PC' with device details: '製造元: Acer' and 'モデル: Aspire M5201'. The interface is divided into several sections:

- スキャン概要 (Scan Summary):** Shows the scan date as 2010/02/11, starting at 7:23:29 and ending at 7:28:25. It notes a 'クイック スキャン' (Quick Scan) of 'マルウェア' (Malware) was performed manually.
- パフォーマンス (Performance):** Lists tests with status indicators: '不必要なファイルテスト' (Red), 'インターネットテスト' (Red), 'スタートアップ アプリケーションのテスト' (Red), 'レジストリのテスト' (Green), and 'メモリ使用率テスト' (Green).
- セキュリティ (Security):** Shows '高セキュリティ脅威のテスト' (Green), '低セキュリティ脅威のテスト' (Red), and 'プロセスレポート' (Blue).
- ディスク (Disk):** Lists '空き領域テスト' (Green), '最断片化ファイル' (Green), and 'フラグ解析テスト' (Red).
- その他 (Other):** Includes 'ドライバテスト' (Green), 'インストール済みソフトウェア レポート' (Blue), 'システム仕様レポート' (Blue), and '最大のファイルのレポート' (Blue).
- レポート (Reports):** Shows 'ディスク構成レポート' (Blue) and 'アドバイス' (Yellow).
- WORLD RANK:** Indicates a rank of '上位 14%' (Top 14%).
- ユーザー評価 (User Evaluation):** States '利用可能なデータが不十分です' (Insufficient available data).
- 修正 / アドバイス サマリー (Correction / Advice Summary):** Shows '5 修正 / 13' (5 corrections / 13).

Navigation icons at the bottom include 'ログアウト', '私のPC', 'ストア', 'ユーザガイド', and 'チューンナップする' (Tune up).

Figure 7

## PC Matic ライセンス購入後

PC Matic の「ストア」を通じて購入を行った後は、ライセンス認証が自動的に行われます。クレジットカードなどであればリアルタイムに近い状況で利用が可能となります。認証後は、「チューンナップする」ボタンを押して PC Matic の推奨環境で最適化ください。



チューンナップ実行後には、実行レポートがサマリー形式で表示されます。(figure 8)



Figure 8

## PC Matic でパソコンを管理する

ライセンス購入後に PC Matic を起動し、一度ログインを行ったことがある場合には同一アカウント内のパソコンが表示された、以下のような画面が現れます。(figure 9)

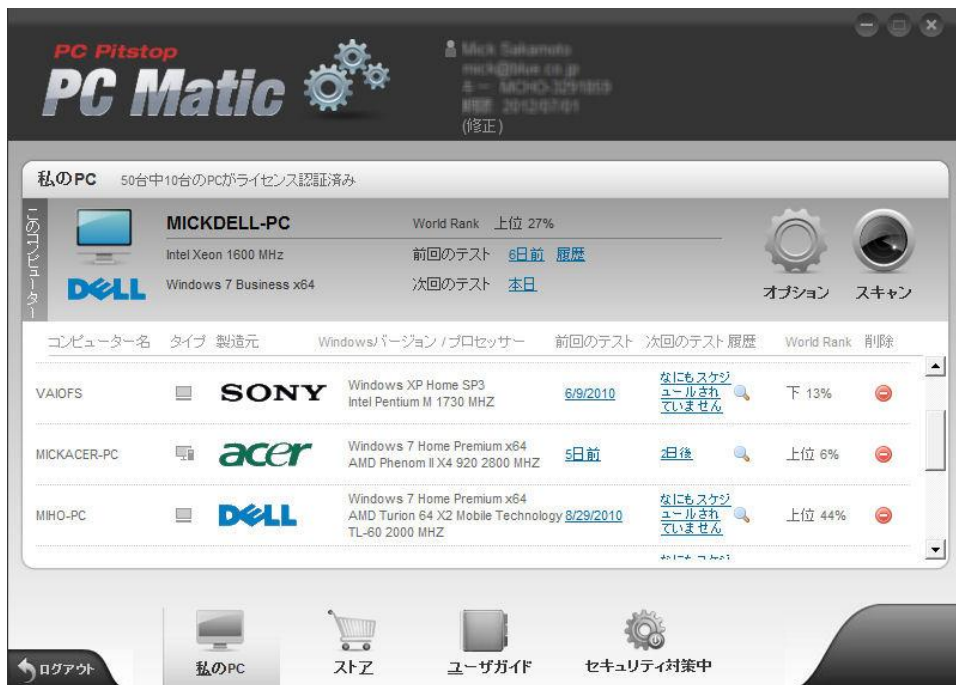


Figure 9

ライセンス購入後に、この管理画面を起動した最初に「リアルタイムセキュリティ検知機能をインストールしますか?」というダイアログが表示されます。ここで「はい」を選択すると、常時セキュリティ対策がなされるようになります。後からセキュリティ対策をする際は、「セキュリティ対策」のアイコンをクリックします。

このパソコン管理画面では以下の機能を利用することができます:

- 各パソコンの最後のテスト日とアドバイス履歴の参照
- 各パソコンのスケジュール起動指定
- 各パソコンの世界ランキング

「履歴」をクリックすることにより、過去の診断レポート画面 (figure 5) をご覧いただけます。

この管理画面からは、現在ご利用のパソコンの新規スキャンを実行していただけます。



## スケジューラー

PC Matic をパソコン上に常駐させ、定期的にスキャンを実行させたい場合には、こちらの画面にてスケジューラーの起動を設定ください。この項目を設定することにより、指定したパソコンに常駐プログラム（10MB）が常に動作するようになります。スケジュールによる定期的なスキャンを指定するのは、（figure 10）にある管理画面にて個別のパソコンに対して指定してください。



Figure 10

## 新規イベントをスケジュールする

PC Matic の新規スキャンイベントをスケジュールするには以下のボタンを押します。

新規イベントをスケジュールします

表示される画面 (figure 11) にて、一時的か定期的に行うか、日時設定などの指定を行います。電子メールによって結果送信を行いたい場合には、設定しておく便利です。



Figure 11

## スケジュールスキャンの設定項目

評価された帯域幅 - ご利用になっているネット回線の帯域幅

スキャンするドライブ- 最適化を実施するドライブを指定

ディスク最適化の種類- 部分的 (標準) か全体

自動再起動- 自動再起動実施の有無

クイック/完全マルウェアスキャン-クイック (標準),完全,スキップ

マルウェア除去の種類- ウイルスとペスト (標準),ウイルスのみ, ペストのみ



## PC Matic 管理画面 のオプション

PC Matic 管理画面の「オプション」にて、現在ご利用のパソコン上で PC Matic を利用する上での各種設定の変更を行うことができます。

## 最適化を実施前に復旧

PC Matic は、最適化作業においてレジストリの最適化や不必要なアプリケーションの削除を行いますが、アプリケーションによってなんらかの不具合が生じた際に、この「設定の修復」を行うと以前の状態に戻すことができます。この項目にて設定を元の状態に戻すのは、なんらかの不具合があった場合に限定をしてください。

## テクニカルサポートのログ生成

テクニカルサポートに問い合わせた際に、「テクニカルサポート用のログを送付ください」と依頼された際に、このボタンを押して作成のほうをお願いいたします。

ログを作成

## スキャンオプション

パソコンの診断と最適化を行う上で、診断や実施をオン/オフを行う設定を指定することができます。例えば、SSDドライブに対してデフラグ処理をしたくない場合には、こちらで指定ドライブのチェックボックスを外すことで実施されないようになります。ドライバの自動更新を行いたくない場合も、こちらで設定することが可能です。

## ホワイトリストの管理

遠隔操作などを行うアプリケーションが検知され、お客様が「マルウェアではない」と指定したものが、こちらのリストに追加されます。サービスのホワイトリストも同様です。こちらへは PC Matic によって登録されたものが表示されるため、手動で登録することはできません。

## ユーザー評価

いま現在ご利用のパソコンにご満足を頂いているかをアンケート形式でご記入いただけます。この結果は、PC Pitstop 社のホームページ上にて顧客満足度が高いパソコンなどの指標として掲載されることに役立ちます。

## 言語

日本語以外に、英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語を選択して頂けます。

## 追加機能管理

「リアルタイムセキュリティ対策エンジン」及び、インターネットファイルダウンロード高速化アドイン「PC Matic Nitro」の「動作」「停止」の他に、「導入」「削除」がここで行えます。

## PC Matic – よくある質問の回答集

### PC Matic は、どんなファイルを削除するのですか？

Windows やアプリケーションは、様々な不必要なファイルを放置したままにする傾向があります。これら不必要なファイルによるディスク空間を占領に対応し、このような一時的な作業ファイルを削除します。これらには3つの種類のファイルがあります。

**ごみ箱** 利用者が不必要として削除したファイルは、即座に削除されずに、ごみ箱と呼ばれるディレクトリに格納されています。万が一誤って捨ててしまった場合には大変便利な機能ですが、実は削除されたのではなく移動されただけです。デスクトップ上の「ごみ箱」アイコンの上で右クリックしたり、エクスプローラ上のごみ箱にてごみ箱内の不要となったファイルを削除することができますが、ついつい削除を忘れてしまいファイルが膨大な数になってしまうこともあります。PC Matic は、このごみ箱内のゴミを利用者に変わって捨ててディスク空間を空けます。

**インターネット一時ファイル** インターネットアクスプローラなどのウェブブラウザは、ホームページを閲覧する度に画面上に表示する様々な情報を次に表示するページや再度同じページを表示する際に高速化するために、一時的にキャッシュファイルとして保存を行います。これにより、一時ファイルは即座に膨大なサイズとなってきます。また様々なサイトにより不必要な利用者行動履歴 Cookie を利用者のパソコン内に記録させハードディスクの空間を次々に占領していきます。

**一時ファイル** Windows と Windows アプリケーションは、様々な一時的なファイルを蓄積してきます。本来は必要となくなった際に削除する仕様としておくべきなのですが、不要となっても、万が一のためなのか、そのファイルは放置されていることが多くあります。こうしたファイルを削除します。

### PC Matic は、どのようなシステム設定の変更を行うのですか？

PC Matic は、3つのポイントにてパソコンのレジストリを変更します。インターネットアクセスの最適化、レジストリクリーニング、システムパフォーマンスの改善の3つです。

インターネットアクセスの最適化においては、回線接続種別（有線/無線）や帯域幅によって最適化方法が異なります。インターネットアクセスの最適化には以下が含まれています。

Maximum Transfer Unit (MTU) 最大送受信パケットサイズ

TCP Receiving Window Size TCP 受信確認のためのサイズ

Default Time to Live	パケットロスを判定するための時間
Automatic MTU Detection	MTU のサイズの告知許可
Blackhole Detection Checks	自動 MTU 検知に対応の有無
Large TCP Windows Support	大量のデータ受信の際の許容量
Fast retransmission and recovery	パケットリスの際の最速送信手法と復元
Selective Acknowledgements	パケットロスの際の受信済データの再送信の不必要通知
http connections	1つの WEB サイトに対しての最大 HTTP コネクション数の増加

レジストリクリーニングにおいては、レジストリから削除無効なキーは、COM と ActiveX 物に関する情報を含んでいるレジストリのエントリです。これらはプログラムの部分ですが、プログラムを削除しても、それらのキーはレジストリに登録されているままになっていることがあります。プログラムが削除されたものを検知し、PC Matic はこれらのレジストリを削除し、レジストリ検索が高速になるように手助けをします。無効となるキーを判別するための方法は以下のとおりです：

無効なクラス IDs (CLSID)

無効な プログラム識別 ID (ProgID)

無効なライブラリ種別 (TypeLib)

無効なインターフェース

アプリケーションのパフォーマンスを最大限とするために若干のレジストリ・セッティングを行います。

DisablePagingExecutive ユーザ・モードとカーネルモード・ドライバーとカーネルモード・システム・コードが使用しない際にディスクにページをつけられることができるかどうか指定します。

ContigFileAllocSize ディスク領域を割り当てるのがいつかについて使われる隣接するスペースのサイズ。

NtfsDisableLastAccessUpdate それが NTFS ボリュームの上でディレクトリをリストするとき、NTFS が各々のディレクトリの最後のアクセス・タイムスタンプを更新するかどうか決定します。

DisableScreenSaver スクリーンセーバーのオン/オフ。

AlwaysUnloadDll Windows のシステム DLL をキャッシュするか否か。

LargeSystemCache システムキャッシュを標準的なサイズもしくは、大きなサイズのファイルシステムキャッシュにしてディスクに書き込む際の影響がどの程度変化を与えるかどうか決定。

## PC Matic が実行したものを元に戻すことはできますか？

ハードディスク内の不必要なファイルの削除（インターネット一時ファイル削除、ごみ箱削除、一時ファイル削除）は元の状況に戻すことはできませんが、PC Matic が最適化などを行ったそれ以外の項目すべてを元の状況に戻すことができます。

## 「不必要なスタートアップアプリケーションを削除する」とありますが、誤検知により必要なものを削除してしまうことはありませんか？

Quick Launch など本当に不必要なもののみを削除対象とし、アプリケーション実行に必要なものは削除いたしませんので、ご安心ください。

## アンチウイルス等のセキュリティソフトを導入しているのですが、そのまま動かして大丈夫ですか？

アンチウイルスソフトエンジンを持つ 2 つのアプリケーションを同時に導入することができないのと同様に、アンチウイルス・アンチスパイウェア検知機能を有している PC Matic においては、基本的には既存のセキュリティソフト（アンチウイルス）を停止した上で実行していただく必要がございます。

スケジュールスキャンを実行する際や前述の手動停止が面倒な場合においては、セキュリティソフトにおいて「ホワイトリスト」または「除外されたファイルと場所」等の設定にて、スキャン除外設定を行うことで衝突せずに実行可能となりますので、設定作業をお願い申し上げます。

PC Matic は、標準設定では「C:\Program Files\PCPitstop」の下に入りますので、このディレクトリもしくはその配下のディレクトリにある PC Matic の 2 つの exe ファイルを指定ください。

## Windows 2000/Me/98/95/NT4.0 で起動しません。

PC Matic は、Windows XP/ Vista/ 7 の 32Bit および 64Bit 環境 (WoW) にて動作をいたしますが、それ以前に発売された OS 環境ではご利用になれません。

また、Mac の BootCamp 上、VMWare 上、Windows7 の XP Mode 上での動作を確認しておりますが、動作保証外となりますので、ご注意ください。

## BootCamp/VM Ware/Virtual PC などの仮想環境で動作しますか？

誠に申し訳ございませんが、PC Matic は仮想環境での動作は保証しておりません。しかしながら動作するとのご連絡をお客様を通じて受けております。

MacBookPro の BootCamp においては、一部の機種で BootCamp が最新版のサウンドドライバで動作せず、特定の古いビルドでなければならないことが報告されております。このため、PC Matic のドライバアップデート機能により、音がでなくなることが報告されております。どうしても BootCamp 上でご利用になる必要がある場合には、オプションにて「ドライバの更新」を必ずオフにしてくださいませよう、お願い申し上げます。

## Windows Server 2003R2/2008/2008R2,Windows Home Server, Windows Embedded 環境下で動作しますか？

PC Matic は、Windows Server 2003/2008,Windows Home Server 上で動作を致します。但し、Internet Explorer (IE) のセキュリティ設定が「高」となっているため標準設定では動作せず、IE のセキュリティ設定にて「信頼のおけるサイト」に「[http://\\*.pcpitstop.com](http://*.pcpitstop.com)」を追加することによって可能となります。

XP/Vista/7 をベースとした Windows Embedded 環境においては Internet Explorer が導入されている必要があります。

## 表示言語が英語になってしまいます。

インストーラにて言語選択を「日本語」にさせていただくと正常に日本語表示がなされるようになりますので、選択ください。

または、PC Matic 起動後に「Option」-「Language」-「日本語」にて日本語表示に変更をしていただくことができます。

## インストール終了後の初回起動で起動しないようなのですが。

初回の起動においては、PC Matic によってインターネット経由にてサービスモジュールをダウンロードし、組み込みを行います。このためインターネット環境が必要となります。また、サービスモジュール組み込み時に、Windows によるセキュリティ警告が表示され、「組み込みを許可する、しない」のダイアログが表示されますので、許可を行い組み込みを行ってください。インストール完了後に PC Matic を起動するとサービスモジュールの展開とセキュリティ情報のパターンデータ入手などに時間を要しますので、回線状況やパソコンのパフォーマンスなどにより数分程度を要することもございますので、ご注意ください。

## インストール時に「Syntax error」のダイアログがポップアップしたのですが。

一部のセキュリティソフトが起動している環境下において表示されることがあると確認されています。PC Matic はクラウドコンピューティング技術によって作られているため、インターネット環境をアプリケーションより呼び出す形で動作します。このためインターネット関連モジュールを呼び出しますが、それをセキュリティソフトが阻止したために前述のエラーが表示されます。エラーが表示されたら「OK」を押してインストール作業を実行して完了していただきますようお願い申し上げます。

今後、セキュリティソフトがクラウドへの対応が進んでくるに従って、このようなエラー表示は減少してくるものと期待されています。

## 起動時にハングアップしているように見えますが。

PC Matic はクラウド型のソフトウェアであるため、アプリケーションを起動した後に、インターネット上から必要な最新のアプリケーションモジュールをダウンロードして起動を行います。このため、動作が遅いパソコン環境においては、一般のアプリケーションよりも起動に時間を要します。またインターネット環境が最適化されていない状況においては、パソコンに高い負荷がかかり一時的にハングアップしているように見えることがありますが、動作は実行されていますのでご安心ください。

起動処理に 5 分以上要した場合、通信エラーにて起動に失敗していることが考えられますので、PC Matic を終了し、再度起動を行ってください。

Vista/Windows7 においては起動時にセキュリティ警告が表示されますが、気にせず許可を行ってください。またファイアウォール等では、www.pcpitstop.com. および IP アドレス 64.29.201.21.への送受信アクセスを許可して頂く必要があります。

## 起動時にエラーを表示し、PC Matic が起動しませんでした。

PC Matic はクラウド型のソフトウェアであるため、アプリケーションを起動した後に、インターネット上から必要な最新のアプリケーションモジュールをダウンロードして起動を行います。

このため、PC Matic より起動されるアプリケーションが Internet Explorer のセキュリティ設定、もしくはセキュリティソフトによって起動を防御される場合、このような現象が発生いたします。このような現象が発生した場合には、以下の設定を見直していただきますようお願い申し上げます。

(1) Internet Explorer の「インターネットオプション」-「セキュリティ」において、インターネットのセキュリティゾーンを「中」もしくは「中低」に設定し、「既定」ボタンを押して JavaScript の設定/ Cookie 受入を有効化してください。PCMaticUI-main.js にエラーが表示された場合の多くは、この問題に起因しています。

(2) アンチウイルス等のセキュリティソフトによって起動が防御されている可能性がありますので、セキュリティソフトの「ホワイトリスト」に、PC Matic を追加ください。(詳細別項目)

## PC Matic の各画面において「文字がはみ出ている」もしくは、「文字が小さすぎて」利用に支障がある。

PC Matic は、Internet Explorer における文字表示指定を利用しています。標準設定を基準としておりますので、この値を変更している場合には標準設定へ戻していただければ正常に表示されるようになります。以下の設定を確認してください。

(1) Internet Explorer の表示用の標準フォントは「MS P ゴシック」です。「インターネット オプション」の「全般」 「フォント (N) 」の「WEB ページフォント (W) 」を「MS P ゴシック」に設定してください。

(2) Internet Explorer の表示の拡大率を「100%」にします。

IE7/8 の場合・・・「ページ (P) 」-「拡大 (Z) 」で「100%」を指定します。

IE6 の場合・・・「表示 (V) 」-「拡大 (Z) 」で「100%」を指定します。

(3) Internet Explorer の「文字サイズ」を「中」にします。

IE7/8 の場合・・・「ページ (P) 」-「文字のサイズ (X) 」で「中 (M) 」を指定します。

IE6 の場合・・・「表示 (V) 」-「文字サイズ (X) 」で「中 (M) 」を指定します。

## ライセンス数のアップグレードはどうすればよいですか。

PC Matic を起動後ログイン状態にて「ストア」アイコンをクリックし、アップグレード対象とするライセンス数を選択ください。同一アカウント（同一のキー番号）がより大きなパソコンを管理するライセンスへとアップグレードされます。PC Matic では他社が採用しているようなライセンスキーを個別に購入し、1つのアカウントで管理をする体系は採用しておりませんので、ご注意ください。

同一キーへアップグレードされた場合には、有効期限が迫っている場合にはさらに1年間が全ライセンス数に対して追加されます。

例:現在2011年4月まで有効期限があり、2010年の6月にライセンスを追加した場合は、2012年の4月まで全ライセンスが延長となります。

別のキー番号を取得された場合には、それぞれの有効期限が設定されます。

例:2010年4月と2010年6月にそれぞれ異なるキー番号で購入された場合には、2011年4月と2011年6月にそれぞれ有効期限を迎えます。

詳しくは、こちらをご覧ください。 <http://pcmatic.jp/pcmatic/license.htm>

## アプリケーションを起動しても、画面になにも表示されないのですが。

インターネット環境が必要なアプリケーションですので、インターネット環境をご用意ください。

また、インターネット回線を利用した SaaS アプリケーションであるため、Windows におけるセキュリティを強化してしまうと利用できなくなる場合がございますので、一時的に通常のセキュリティ設定に戻していただく必要がございます。

## 「チューンナップする」を選択して実行しても、再度実行したら「赤色」の部分が残されているのですが。

PC Matic は完全な最適化を目指していることに起因した現象です。PC Matic は、複合的な要因を含むものを後回しにして、まずは確実に最適化を行う必要のある個所よりチューンナップを行うアルゴリズムを採用しています。このため、数度のチューニング処理が必要となりますが、これによりパソコンがもつ可能性を最大限に引き出すことが可能となっています。

このためチューンナップ直後に再度実行しても赤色の部分が残されることがあります。この場合は、引き続きチューンナップを行ってくださいますよう、お願い申し上げます。

**チューンナップを実行後にブラウザ (IE/Firefox) が正常に表示できなくなりました。**

PC Matic はブラウザがアクセスする度に保存をする「インターネット一時ファイル」の容量を縮小するために削除処理を行います。このため、ブラウザが一時保管されていると判断したファイルを新たに取得しないため、画面表示が崩れてしまう現象が起きます。このような現象が起きた場合には、ご利用のブラウザにおいてキャッシュの削除処理を行うと正常に表示されるようになります。

Internet Explorer の場合:「ツール」-「インターネットオプション」-「閲覧の履歴」-「削除」

Firefox の場合:「ツール」-「オプション」-「詳細」-「ネットワーク」-「オフラインデータ」-「消去」

**特定の診断箇所でハングアップするのですが。**

PC Matic はハードウェアの厳格なるテストを行うため、ドライバに障害 (バグ等) がある場合などは、ハングアップすることが確認されています。そのは、「オプション」の「スキャンオプション」にて「ドライバの更新」を「オフ」にしてドライバの診断および更新作業をスキップするように設定くださいますよう、お願い申し上げます。

**ネットワークドライバを自動更新し、完了のメッセージが表示されたがその先に進まないのですが。**

PC Matic は古いドライバを自動更新する機能を有しております。しかしながら PC Matic はクラウド型アプリケーションであるため、ネットワークドライバ更新作業によりネットワークが切断されることに起因し、次のプロセスへ進めないことがあることが確認されております。

このため、ネットワークドライバ等を更新作業が 20 分以上経過しても終了しない場合には、PC Matic のウィンドウを閉じる処理を行って強制終了してください。その後、Windows を再起動した上で、再度 PC Matic によるチューニング作業を行い、残りのプロセスについての作業継続を頂ければ幸いです。

**ログイン状態で PC Matic を起動した後の画面で「チューンナップボタン」が右下に現れないのですが。**

ログイン状態で PC Matic を起動すると、自分のパソコンが上段に表示され、その他の管理しているパソコンがその下に一覧表示される「管理画面」が表示されます。起動したパソコンで診断およびチューンナップを行うには、自分のパソコン名の右側にあるレーダー状のアイコン (円形) の「スキャン」ボタンを押すことによって実行されます。

その左隣にある「オプション」ボタンは、自動実行スケジュールの設定や言語設定、Cドライブのデフラグスキップなどを指定することができるオプション設定ボタンとなります。

## ライセンスキーが分からないので購入した時と別の PC で利用できない。

複数台で PC Matic をご利用いただく際の「ログイン ID」は、最初のパソコンで作成した ID/パスワードでご利用が可能です。ログイン ID にライセンス情報が連動しているため、別のパソコンにて新たにライセンスキーを入力して頂く必要はございません。

## アンインストールをして利用可能アカウント数を増やしたいのですが。

同一アカウント上でのパソコンを削除するためには、該当するパソコンでの利用を 60 日間行っていないことが条件となります。60 日以上経過の後に管理画面より削除を行ってください。

## パソコンがクラッシュしたので再インストールできますか？

PC Matic は、「コンピュータ名称」「OS」「BIOS によるメーカー名と機種名」によってパソコンを管理しています。このため OS を再インストールした際や、コンピュータ名称が変更となった場合には、別のパソコンとして認識がなされます。この場合、パソコン 1 台分のライセンスが消費されることとなります。クラッシュした以前のパソコン分のライセンスを削除するには、60 日以上が経過している必要がありますので、ライセンスでの上限値いっぱいパソコンを管理している場合には、60 日経過後に古いパソコン情報を削除した上で追加が可能となります。

## その他の PC Matic に関するサポート

PC Matic の日本語サポートページに随時記載しておりますので、ご覧ください。

<http://pcmatic.jp/info/faq.html>

技術的な FAQ はこちらにございます。（英語）

<http://forums.pcpitstop.com/index.php?showforum=29>（英語）

# PC Matic ユーザマニュアル

制作・著作 PC Pitstop LLC、ブルースター株式会社

翻訳 ブルースター株式会社